

# 71 「予防・予察」に重点を置いた総合防除の推進

令和8年度予算概算決定額 2,549百万円（前年度 2,605百万円）の内数  
〔令和7年度補正予算額 4,000百万円の内数〕

## ＜対策のポイント＞

効果的な病害虫防除による生産力の向上と環境負荷の低減を通じた農業生産の持続性の確保の両立に資する、化学農薬のみに依存しない「予防・予察」に重点を置いた総合防除を推進していくための取組を支援します。

## ＜事業目標＞

- 農業者の総合防除の実践と浸透を図る総合防除実践指標を470件策定 [令和12年まで]（食料・農業・農村基本計画のKPI）
- 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減 [令和32年まで]（みどりの食料システム戦略のKPI）

## ＜事業の内容＞

### 1. 食料安定生産に資する新たな病害虫危機管理対策・体制の構築事業

78百万円（前年度 96百万円）の内数

精緻かつ迅速な発生予察の実現に向け、新たな発生予察の調査手法を確立します。

### 2. 消費・安全対策交付金のうち病害虫の防除の推進

1,896百万円（前年度 1,896百万円）の内数

- ① 総合防除実践指標の作成、これらに必要な地域の総合防除体系を確立するための実証などの総合防除の実践に向けた取組を支援します。
- ② 従来の防除対策では防除が困難化した作物に係る新たな防除技術の実証等による防除体系の確立を支援します。
- ③ 関係者と産地が連携し、地域一体となった効果的・効率的な新たな広域型総合防除体制のモデル的な構築を支援します。

### 3. みどりの食料システム戦略推進総合対策のうちグリーンな生産体系加速化事業

574百万円（前年度 612百万円）の内数

【令和7年度補正予算】4,000百万円の内数

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、化学農薬低減等の「環境にやさしい栽培技術」と慣行の栽培に比べ「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな生産体系」への転換に向けた取組を支援します。

## ＜事業の流れ＞



## ＜事業イメージ＞

